

〈ユーコープ協力会〉

協力会NEWS

年1回発行
2017年9月

NO.4

ユーコープ協力会 会長あいさつ

ユーコープ協力会の皆様に於かれましては、平素より当会活動に一方ならぬご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、本年は米国大統領選にて共和党のトランプ候補が勝利し大統領就任、アメリカ第一主義を掲げTPPからの離脱から始まり、昨今では北朝鮮やロシアとの緊張感も高まり日本の近隣国の動きも活発化しており、世界的な調和の崩壊を窺わせております。結果、国際政治や経済の動きは混迷を続けています。国内に目を向ければ、景気は横ばい圏内から抜け出しつつありますが、生産年齢人口（15歳～64歳人口）が減少するという人口構造変化を背景に労働需要はタイトな状態が続く、物価が上昇基調に転じるため個人消費の伸びが抑制され、節約志向が高まるものと予測されます。

こうした中、ユーコープ様は「すべては目の前の組合員のために」を2017年度の経営方針に掲げられており、店舗事業は大きく組織再編、3県を5エリアに細かく分け、「お仲間づくり」、「エリア別支援」を強化し地域の新たな拠点づくりへの取り組みを推進、組合員とのつながりを強め、地域の拠点として地域密着型のコープを目指しております。宅配事業では「組合員視点での改善、つながり」「おうちCO-OPならではの価値追求」を掲げ、組合員の声・現場の声を反映した商品提供、ユーコープセレクションを中心とした商品開発や産直への取組みを通じて将来にわたって地域の中で発展出来る事業展開を進めておられると伺っております。私ども協力会メンバーはこの両事業におきまして、ユーコープ様と同じ目線で組合員と



ユーコープ協力会 会長 森山 透

向き合い、全力を挙げてご支援申し上げる所存でございます。そのキーとなるのがユーコープ様の3つの指針への賛同だと考えます。この3つの指針「1. 組合員の立場で実践できる、人と組織をつくります。」「2. 組合員の期待に事業で応え、事業構造の改革を進めます。」「3. 社会的役割を發揮します。」を理解し、この活動を全面的にバックアップさせて戴くことが協力会の務めの一つであると確信しております。

引き続き、今期も会員各社様と一緒にユーコープ様を盛り立てる為、全力を尽くして参りますので、皆様のさらなるご支援とご協力をお願い申し上げます。

愛され広がっていますユーコープセレクション

2014年11月にスタートした商品シリーズ「ユーコープセレクション」。2017年春には第6弾、秋には第7弾と、ラインナップが続々と広がっています。



- ✓原料・製法にこだわっています
- ✓おいしさを追求しました
- ✓組合員が参加♡育てています
- ✓ユーコープ生まれです

♡組合員が参加♡育てています♡

CO-OP素肌センサスシリーズ

組合員の皆さんとユーコープ職員の声を聴いて生まれた基礎化粧品です

247名の組合員アンケートからスタート、組合員の期待は「肌へのやさしさ」「保湿力」「手頃な価格」でした。試作とモニターを繰り返しながら、約2年間、延べ820名のモニター参加者とともに納得のいく品質をめざして、開発を進めました。



発売に先行してモニター組合員8名に、完成品を約1ヵ月ご使用いただいたところ、総合評価は全員が「良い」「やや良い」という高評価！組合員も納得の化粧品ができました。



組合員モニターグループインタビュー

お店の近くの組合員宅を訪問 ご意見を改善に生かしています

店舗近隣地域にお住まいの方たちへの訪問を実施し、ご意見やご要望、店舗に対する評価などをお伺いしています。ご要望に基づき、以前に中止した商品や新たな商品の品ぞろえを行うなど改善を進めています。



組合員宅を訪問している様子

おうちCO-OPに寄せられる声で 改善を進めています

「組合員の声改善報告会」を定期的で開催し、おうちCO-OPサービスセンターに寄せられる声から課題を発見し、より使いやすくなるよう改善を進めています。

【事例】「保冷剤に野菜や果物が触れて傷んだ品が届いた」という声を受け、商品と保冷剤の間に緩衝材をセットするように改善しました。また以前より要望のあった小さいサイズの冷蔵品の通い箱を導入しました。



半分のサイズの通い箱



緩衝材の入った状態

生産者がおすすめ！ 店舗で産直市を開催しました

生産者と組合員の交流の場として、コープの産直・産地指定の生産者をユーコープの店舗に招き、試食や商品のおすすめをする産直市を開催しました。2016年度は11月に茶美豚、はぐみ鶏、岩手ひとめぼれの生産者が売り場で組合員とともに商品の試食・おすすめを行い、来店者に「顔が見える産直商品」をアピールしました。



片倉店（神奈川県横浜市）の様子

配食事業でやわらか食、介護食など 「健康管理食」の提供を始めました

「やわらかめのおかずを食べたい」「糖尿病に対応する食事を開発してほしい」など、個々の体調に合わせた商品の取り扱い要望に応えるため、新たに「コープの健康管理食」をスタートしました。1日2食または3食の食事を1週間分まとめてクール宅配便でお届けします。



ペットボトルキャップ回収で 世界の子どもたちを支援します

組合員の声に応じて、店舗や宅配センターで回収を始めました。回収後はリサイクル資源として売却し、その売却益は「認定NPO法人世界の子どもにワクチンを日本委員会(JCV)」を通じてワクチン接種費用として活用されます。



新沢田店（静岡県沼津市）での回収の様子

おうちCO-OPリサイクルセンターを 開設しました

おうちCO-OPを利用する組合員から回収したカタログやポリ袋などの資源物を分別し、圧縮・梱包することで資源としての価値を高めます。また、作業員として障がい者の雇用を進め、地域への貢献をめざします。



リサイクルセンター開所式の様子（神奈川県大和市）

フードドライブ活動を始めました

静岡県内の全17店舗で、8月と1月に店内に専用の回収箱を用意し、組合員に「家で眠っている食品」の提供を呼びかけました。集まった食品は、NPO法人「フードバンクふじのくに」から行政や社会福祉協議会・支援団体を通じて、食の支援を求むる方に提供しました。



下野東店（静岡県静岡市）の回収箱

子ども食堂への食品の寄贈の輪が 広がっています

おうちCO-OPでは、組合員のやむを得ない事情で配達直前にキャンセルになった商品の一部を行政や地域のNPO団体に提供する取り組みを開始しました。これらの食品は「子ども食堂」の開催や、食料に困窮する家庭の支援に役立てられています。



子ども食堂「よんたくん広場」の様子（神奈川県横浜市）

福島県富岡町の「夜の森さくら」の苗木を 植樹しました

東日本大震災の復興支援の取り組みとして、現在も町の一部が帰宅困難地域となっている福島県富岡町の桜の苗木を各地に植樹する取り組みに賛同し、2017年3月16日におうちCO-OP甲府センター（山梨県甲府市）に植樹しました。今後、神奈川県、静岡県内でも植樹する予定です。



3月16日
植樹式の様子

「九州北部豪雨緊急募金」に 取り組みました

7月に記録的な豪雨で大きな被害を受けた九州北部に対し、ユーコープでは7月中旬から8月上旬まで、おうちCO-OPや店舗で緊急募金を呼びかけました。

寄せられた募金は、日本生協連を通じて、義援金として被災者へ届けられるほか、支援金として被災地支援のための活動などに活用されます。

募金額（8/20時点）
1,773万7,906円



ユーコープ協力会第4回総会を開催しました

7月27日(木)、新横浜プリンスホテルで「ユーコープ協力会第4回総会」および「ユーコープ方針説明会・試食説明会」を開催し、協力会員292社の計599人の方にご参加いただきました

ユーコープ協力会 第4回総会

協力会の活動・収支の計画と報告4議案が全て可決されました。

※協力会は、会員相互の親睦と、相互に情報交流を行い会員の利益の増進をはかるとともに、ユーコープの組合員のくらしの向上に貢献することを通じて共存共栄をはかることを目的としています。会員数325社(2017年7月現在)



ユーコープ方針説明会・試食説明会

ユーコープ方針説明会

総会後の方針説明会ではユーコープの第1次中期経営計画の進捗と2017年度の取り組みについて説明しました。



試食説明会

方針説明会でお伝えした方向性について、より具体的にご理解いただくことを目的にパネル展示と商品試食を行いました。



商品部のバイヤーらが業態別の今後の商品戦略などについて会員の皆様に説明しました



展示説明した商品を中心に試食していただきました